

所信表明

令和7年5月臨時会において、副議長選挙に立候補させていただきます、公明会の齋藤和文です。私自身、平成27年の富士宮市議会議員選挙から10年が経過し、3期目の折り返しとなりました。

この10年の間、日々市民のために粉骨砕身、大衆と共に語り、大衆と共に戦い、大衆の中に死んでいく決意で活動してまいりました。この間、世界中で、日本中で、富士宮市内において様々なことが起こり、対応に苦慮しました。新型コロナウイルスについては、今なお苦しんでいる市民、特に子ども達には良い影響は与えませんでした。園児・児童・生徒に、真の笑顔が戻るように大人が動いていく必要があります。

そのような中、私自身一般のサラリーマンから見た議会・議員・行政は、ハードルの高いものに当初は感じておりました。10年仕事をさせていただき思ったのは、お互いの目線を合わす必要があり、お互いの距離感を縮める必要があると強く感じました。この思い考えは年々強くなっております。日々距離感をどうしたら縮めることができるのか、苦心しています。さらに自己研鑽や学びを通して、己を高め、議員力を向上させること、市民の中へ飛び込み多くの要望相談を解決する必要があります。この行動こそが市民サービスの提供・向上に繋がり、信頼を勝ち取るチャンスではないかと考えます。

今回副議長選挙に出馬するにあたり、新議長を支え、会派間・議員間の合意形成が図れるように努めてまいります。市民との距離感の近い議会を目指して、努力し続けてまいります。

議員の皆様のご支援を心からお願い申し上げまして、副議長選挙の立候補の所信表明と致します。

令和7年5月9日

公明会 齋藤和文